

zoo もりおか

第3号 1992



盛岡市動物公園

目次

動物公園への期待	3
動物公園を歩く	3
これがアフリカ園だ！	4.5
アフリカ園オープン	6
どうぶつこうえんウラばなし	7
どうぶつのおはなし - ホンドキツネの繁殖 -	8.9
どうぶつのあかちゃんコーナー	9
みんなポニーにのりにおいでよ！	10.11
どうぶつこうえんクイズ大会に挑戦！	12
動物公園日誌	13
動物公園友の会コーナーです	14
こどもどうぶつこうえんへのおたより	15
紹介します	15

表紙写真説明

アフリカゾウ

アフリカゾウは、皆さんご存知のように、陸上で最大の動物です。体の高さは、オスで3～4m、体重は、5,000kg～7,000kgぐらいになります。当園のゾウは、オス、メス共に推定年齢1歳で、体の高さ約1.3m、体重約300kgです。

2頭は、平成3年の11月14日に、南アフリカの国立公園からはるばるやって来ました。長い旅にもかかわらず元気で、人をこわがる様子もなく、私たちを安心させてくれました。

野生では、草、樹皮や木の葉などを食べますが、動物公園では、乾草やペレット、リンゴ、パンなどを与えています。2頭ともすごい食欲で、寝ている時以外は、いつも口を動かしています。

2頭とも暖かい所から来たため、盛岡の寒さには驚いたことでしょうか。おそらく生まれて初めて寒さを知ったのではないのでしょうか。また初めて雪のある運動場へ出た時は、2・3歩あるいただけで、すぐに部屋の中に戻ってきてしまいました。しかし寒さにもすぐに慣れてきて、今では2頭でじゃれあったり、砂浴びをしたり、雪を口に運んでみたりして遊んでいます。

一般公開は今春からです。人間でいえば2頭とも赤ちゃんです。新しい住まいに来て、まだ不安でしょう。皆さん、今度来園しましたら、新しい2頭の盛岡の住民に声をかけてあげてください。

動物公園への期待



岩手県自然保護課

佐賀耕太郎

私たち鳥獣行政担当者は、自然界の動物と人間との共存を図るため、いろいろな仕事をしていますが、直接動物たちと接する機会は滅多にはありません。その点動物公園の方々は毎日動物たちの生活にふれる仕事ですから、彼らの生態をくわしく知ることができ、これはとても素晴らしいことです。

世界の野生動物の生息環境は、人間の社会経済活動の影響から、たいへんきびしい状況にあります。日本でも例外ではありません。生息地を奪われて、姿を見ることが少なくなった種類がたくさんあります。カワウソやトキのような絶滅しそうな種類もあると言われています。

そこで、万一の場合にそなえて、動物公園で人工増殖の技術を確認していただきたいと思います。日常の飼育管理を通して、貴重な生態記録や繁殖実績を蓄積し、各種の動物に応用できるような研究を進め、技術拠点の役割を担うよう期待しております。

願わくば、人工増殖などしないで済むような地球であればと思います。

動物公園を歩く



つばめ幼稚園園長

沼宮内耕作

サル山のサルをしばらく眺めてから、緩やかな傾斜の広い道を下っていく。このあたりの雰囲気は多摩動物公園に似たところがある。

右手にいろいろの動物が現れるが、住み家や隠れ場所があつてなかなか見つからないものもある。じっくり待つか探すかして、やっと対面できるのがまた格別楽しい。

ニホンカモシカ、オオツノヒツジ、アメリカバイソンなどは双眼鏡を使うとよく見える。山野でウォッチングしている気分である。

こども動物園は動物に触れて遊ぶので子供達は大喜び。かわいさだけでなく、大きさと匂いとか体温とか、加減しないで動き回る筋肉の強さなどを総合した、動物がもっているたくましさ子供達は体で感じる。

園内は広々としていて、園児にとっては一回りするだけでかなりの体力を必要とし親子遠足には絶好の環境である。私共の幼稚園でもここ3年間続けてお世話をいただいている。

幼稚園の事情とか願いをよく受け入れて、心を込めて対応なさる職員の方々にただ感謝あるのみである。

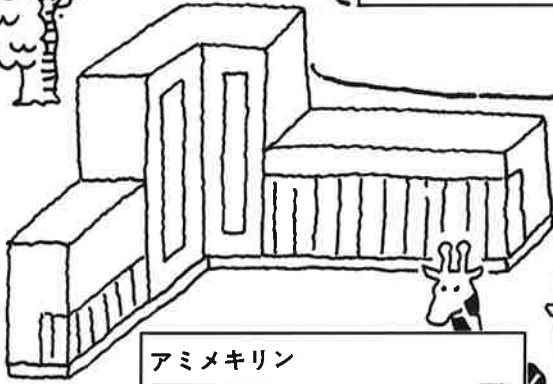
これがアフリカ園だ!!



シロサイ



僕の名前はクジュウ。アメリカの動物園で生まれて、いま15才。体重は2tもあるんだ。泥あびが大好き。ちょっとおくびょうだけどいつも体をさすってくれる飼育係の人大好きさ。

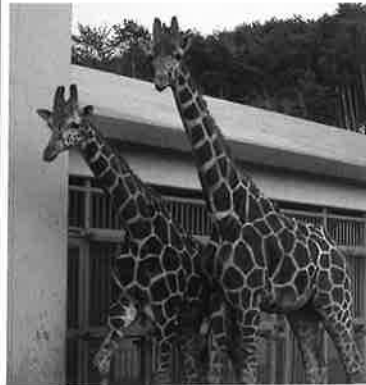


シロオリックス



僕たち仲良し3人組のシロオリックス。僕たちの遊びをじゃまするやつはこのサーベルのような長い角を使ってけちらしてやるのさ!

アミメキリン



僕の名前はラガー(左)2才。僕は臆病でとても警戒心が強いんだ。お嫁さんの名前はリリー、1才年上のお姉さんでとても元気。なんにでもきょうみをもつんだ。

チャップマンシマウマ



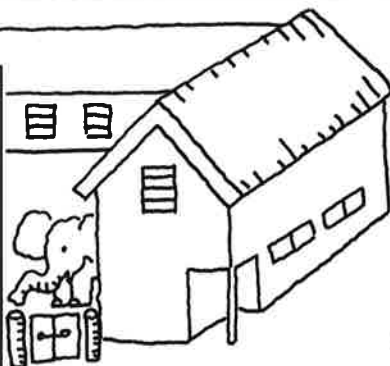
オス(奥)は小さいメス(中)とはとっても仲良しだけど体の大きなお姉さん(前)にはたまにいじめられることがあるんだ。



アフリカゾウ



左側の少し大きく、やさしい顔をしたほうがメスです。時々いじわるされるのに、すこしオスのすかたがみえないだけで、大きすぎしてさがしまわります。オスはやんちゃぼうずです。



ダチョウ



オス(羽が黒い)はシマウマやキリンにまでケンカをしかけるあばれんぼうだけど、飼育係には求愛のダンスをおどってくれるんだよ。



ライオン



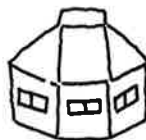
オス・メスとも2才。まだやんちゃざかり。とても仲がよくていつもいっしょにいます。メスのほうがちょっと強いんだ。



フラミンゴ



体が大きくくちばしがピンク色をしているのがヨーロッパフラミンゴ、体が小さくくちばしが黒っぽい赤色をしているのがコフラミンゴです。近づくとくちばしで攻撃してくるこわい者知らずです。



*まちにまった アフリカ園オープン

平成3年7月26日、待望のアフリカ園が新しくできました。到着の遅れていたアフリカゾウも加わり、現在全部で9種の動物が初めての冬も乗り越え、元気になっています。さて、新しい動物がやってくるということは、飼育係にはとても大変なことでした。野生での生活や飼育方法を調べたり、ときには他の動物園へ何日間か勉強に行くこともありました。運動場で事故がおきないように点検したり、なおすための大工仕事などもしました。またどうやったら動物を一番良い方法で運びこめるかをみんなで何回も話し合ったりして

慎重に準備したのです。

実際に動物がやってきてからも気がぬけません。ケガをしていないか、新しい生活場所に慣れてくれるかなど、心配の日が続きました。また同じ運動場に一緒に放飼するものは、それぞれの動物が初対面なので、仮のさくを作ってお互いにお見合いをさせました。

このようにいろいろ工夫をして、一日も早く新しい環境に慣れてほしいと思う毎日でした。そんなアフリカ園開園前の様子をいくつか写真で紹介しましょう。



お見合い

動物どうし仲良くしてもらうため、お見合いをしてからいっしょにしました。



到着したサイ

動物園一番の大物。重さは箱もいれて3tもあったので大きなクレーンでつり上げました。



フラミンゴ

足をおらないように、ストックキングでくるんではこばれてきました。



アフリカゾウ

長旅のつかれもなく飼育係にもすぐなれました。



キリン搬入

小雨のふる中到着。飼育係全員で出迎えました。

どうぶつこうえんウラばなし

カワウソの 体重測定



盛岡市動物公園では、6月7日の計量記念日にちなんで、毎年、動物計量クイズを行なっています。前回は、カナダカワウソのオス、メスの体重の合計をあてるという問題でした。

そこで、カワウソの体重測定をすることになりましたが、どうやって測ったらよいものかとなやんでしまいました。

それは、カワウソがカゼぎみのときに、獣医さんがカワウソに袋をかぶせてつかまえようとしたら、ふだんは人なつっこいカワウソが、ものすごくおこってかみついてくるので、獣医さんは必死でオリをよじのぼってにげみんなにわられたという事件があったからです。

そこで、今回は袋作戦はあきらめることにして、カゴ作戦でいくことにしました。

カゴの中にカワウソの大好きな魚を入れておいて、カワウソがそれを食べに入ったところでカゴごと測ってしまおうという作戦です。（「カワウソが入ったカゴの重さ」－「カゴの重さ」＝「カワウソの体重」）

でも、この作戦は、メスはうまくいきましたが、オスはカゴより体が大きいのでスリとにげられてしまいました。一度にげられると、もうカゴの中へは入ろうとしません。

どうしよう、と考えているうちに、ふと思いついて魚をオスの目の前にぶら下げってみました。すると、なんと、魚につられてオスが歩いてきます。そのまま、魚をハカリの上にはぶら下げると、オスはヒョいと、自分からハカリののってくれたのでした。あまりの見事さにおどろきつつ、あわてて針を読み、無事オスの体重測定も終わりました。

動物によって体重測定の方法はちがいますが、カワウソは食べ物でつるのが一番、ということだったようです。

ドンの愛情



ロバのドンは毎朝、運動場に出ていく前に飼育係に必ず「ある」あいさつをしていきます。それは飼育係のにおいをかぎにくるのです。その時、

飼育係がついボーッとしていると「カプッ」と手やお腹などどんな所にもかみついてきます。かまれるとかなりたいです。さらに運動場に出ても、うっかり背中をむけていると、後足だけで立ち上がって前足を飼育係の肩にかけ体をあずけるように乗りかかってくる。そのあと、前足でがっちり押さえこんで首や頭にかみついてきます。このような行動は、ロバ同士の遊びではよく見られますが、ドンの場合、自分のまわりに仲間がいなくていつも一人ぼちなので、さみしくてこんなことをしてくるのでしょうか。

どちらも、ドンにとっては、飼育係に対する愛情表現なのだろうと思うことにしました。

飼育係一年生の私はロバにまできたえられているような気がしてきますが、でもやっぱりかまれるのは遠慮したいところです。

ヨザルのヨッチャン



あたたかい時期だけこどもかいかんで展示している、ヨザルのヨッチャンという小さなサルがいます。ヨザルはあたたかい所にすむ夜行性の動物です。

そのヨッチャンがまだ9月だというのにカゼをひいたらしく、はな水をたらししていました。いつもより元気ありません。さっそく獣医さんにれんらくし、治療することになりました。動物にくすりをあたえるのは、ふつうむずかしくて、エサにくすりをまぜてもたべなかつたり、注射をするために何人もかかっおさえたり、とたいへんなのです。小さなヨッチャンでもするどい歯でかまればケガをしてしまうので、私はどんな治療をするのかと少し心配でした。獣医さんは、小児用シロップ（人間用）を注射器に入れてのませるように、といましたが「きつとのまないだろうな、そのときはつかまえてムリにでものませなきゃ!!」と思いながら、オリのあいだからそっと注射器を入れました……。すると、なんと今までたよりなく立っていたヨッチャンが、急に目の色をかえ、注射器をひったくとおいしそうにひといきで飲んでしまいました。のみおえると、「もっとちようだい」というような顔でケロッとしています。くすりをのんでくれてホッとした半面、なんだか気がぬけてしまいました。

くすりの効果はバッチリだったようで、それからヨッチャンはカゼをひいていません。

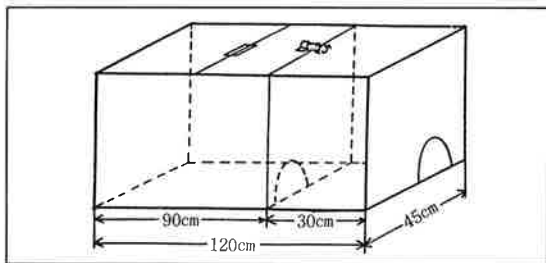
どうぶつのおはなし

ホンドキツネの繁殖

動物公園が開園して3年目、いろいろな動物のこどもが生まれました。その中でホンドキツネの繁殖の様子を紹介します。

出産

4月の始め、メスが放飼場に穴をほり、その後、その中に入っているのをよく見かけました。よく見てみるとお腹が左右にポコンとふくらんでいるように見えます。出産が近いのかもしれないと思い、さっそく巣箱を作りました。(下図)



野生では、地面にほった穴、岩の割れ目や、アナグマの使った穴を巣穴として利用し、その中は、迷路のような入り組んだ構造をしています。そこで巣箱の入り口をせまくし、いきなり産室ではなく、その奥にもう一部屋作りました。また、巣箱には母親となるメスのフンをこすりつけておきました。これは、特に肉食性の動物の場合よくすることで、人のおいをけすため、また自分において安心させるためなのです。特にキツネは出産時、大変神経質になるので、巣箱を気にしてくれるか心配しましたが、次の日には入っており、ひとまず安心しました。産室の床には乾草をたくさんいれておきました。

その次の日の4月13日に、巣箱から「クウー、クウー」という鳴き声が聞こえました。母親が警戒しすぎていると、出産直後に子どもを食べてしまうことがよくあるので、元気な子どもの声に安心しました。子どもを見てみたくなりましたが、がまんしできるだけ近づかないようにしました。

子育て

その後も、母親は初めての出産にもかかわらず、とても落ちついていました。出産当日はエサを残しましたが、その後は食欲旺盛になり、3日後に部屋のすみや巣箱の下にエサをかくす行動が見られました。部屋の中はコンクリートなのに鼻先でエサに土をかけるような行動をしたのです。野生でも余ったエサは穴を掘ってうめておき、後でまた食べることがあるようです。巣からはなれづらく、エサを確保しにくい出産後には、その傾向が強まるのでしょうか。



写真A 生後10日目

エサをかくすのに夢中なのをみはからって巣箱の中をのぞくと、3匹のころころとした、まだ目があかない赤ちゃんがいました。(写真A) 3匹ともオスでした。

4月22日、出産後初めて、母親を放飼場に出してやりました。しばらくは草をいっしょうけんめいに食べていました。これは胃の中にたまった毛などをはき出しやすくするために食べるのです。子どもの体をなめてあげていたのでしょう。放飼場でもほとんどのエサは前足で細長い穴を掘り、かくしてしまいました。

うめたエサの上をたまたま私がふんでしまった時などは、母親が飛んできて長グツにかみつくまっです。

野生のキツネでは、子育て中に巣穴を別の場所にひっこすことがあります。これは巣穴ににおいがこもり、他の動物に気づかれるから、または巣穴の中が不衛生になるからともいわれています。そこで5月6日にはもう一つ簡単な巣箱をおきました。この時には子どもの目はあいており、その4日後には新しい巣箱にひっこしていきました。



写真B 生後39日目

写真Bのように子どもが大きくなった5月21日、最初の巣箱を放飼場に出しました。かわいい盛りの子もたちをお客さんに見てもらいたかったのです。巣箱は不安になったときの逃げ込み場です。徐々に外にも慣れ、ミルクをせがみながら母親についてまわる姿も見られました。黒かった毛の色も親ギツネと同じように黄色味が増してきました。

ヨチヨチ歩きだった足どりもこのころからだいぶしっかりしてきました。



写真C 生後65日目

子別れ？

6月24日、写真Cのように大きくなり、初めて父親と一緒に放飼してみました。出産からそれまで父親は別に飼育していました。

野生のキツネでは、父親もエサを運んだり子どもの毛づくろいをしたり、子育てに参加します。動物公園では部屋がせまいこと、また、母親がせっかく落ちついているのに、父親が神経質になって子どもをいじめてしまうかもしれないということから分けておいたのです。

初めて父親に顔をあわせた子どもたちは、こわいけれども興味があるという様子で、特に一番大きい子どもが体を低くして、しきりに近づいてきましたが、父親は相手にせずケンカにはなりませんでした。

8月16日、母親と子どもが後ろ足で立ち上がって、前足でけり合ったり、母親が後ろから子どもの尾をかんだりする行動が見られ始めました。

野生ではふつう8月頃、子どもを一人立ちさせるため、また母親が次の結婚・出産にそなえるため、わざと子どもをいじめて、自分から遠ざけようとします。これを子別れと言います。この行動が子別れの前ぶれかと思われ、子どもたちをどこに分けようか場所を探したり、婿入り先の他の動物園を探しました。しかし、子別れの行動もあまりひどくならず、しばらくしておさまり、現在も親子5頭一緒に飼育しています。

子どもたちは、もうすっかり親と同じくらいの大きさに成長しました。

どうぶつのあかちゃんコーナー (平成3年度)



5月7日生まれ
ニホンザル



5月15日生まれ
トウホクノウサギ



6月5日生まれ
ニホンジカ



1月27日生まれ
ニホンツキノワグマ

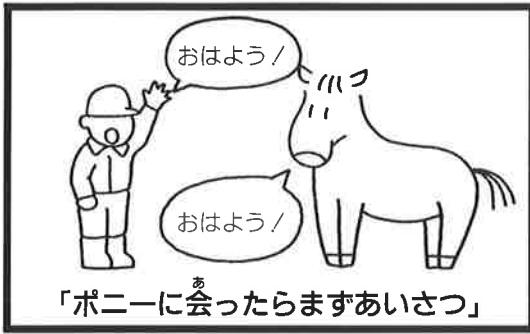


10月18日生まれ
アメリカバイソン



12月31日生まれ
ヒツジ

みんなポニ のりにおい



「さあ、^{じょうば}乗馬の^{はじ}始まりだ!!」

ーに でよ!!

めい ば 名馬しょうかい



ユキ
真白いこの体が私のじまん。「チャグチャグ馬っ子」にも出た事があるのよ。本当の名前はしらゆきひめ。そう、私は女の子よ。



ハニー
新しく仲間入りしました。みなさんにとってもらうために乗馬の練習中です。

ポニーに乗れるのは子供どうぶつえんの近くだよ！
子供どうぶつえんではウサギやヒヨコをだっこしたり、ヤギにさわったりできるよ！

ウサギのだっこ

平 日	10:30~11:30
	13:30~14:30
日・祝祭日	10:30~12:00
	14:00~15:00

ポニーの乗馬

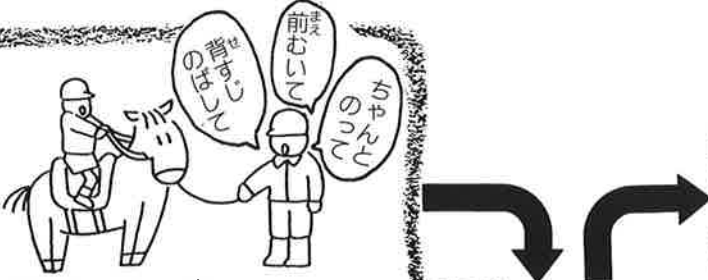
日・祝祭日	10:45~11:45
	14:00~15:00
土 曜 日	14:00~15:00
(火・木曜日)	14:00~15:00
春・夏休みのみ	



ヒロ
黒い体に白いたてがみがみごとにきまっているのがこのオレさ。
「どうぶつこうえんの黒い風」と人はいよぶ。



ダイ
ちからとスピードじゃだれにも負けない。「スタミナがない」とよく言われるが遊び出したら止まらないぜ。



「係の人の言う事をよく聞いてね!!」



「ポニーさんありがとう」



「ポニーに乗った気分はどうか?」



「じゃ、みんなのりに来てね!」

◆ どうぶつこうえんクイズ大会に挑戦! ◆

『カワウソは魚が大好きですが、彼らが食事をするときは必ず水から出て物を食べる。
○か×か?』

皆さんは、この問題の答えが分かりますか。(正解は×)これは11月3日の動物公園まつりの中の『どうぶつこうえんクイズ大会』に出題された問題なのです。この問題では117名中、9人の正解者しかいませんでした。

このページでは、そのときの問題を取り上げています。我こそは動物もの知り博士と自負する皆さん、クイズ大会の一回戦で負けてしまった人、今このページで再び動物クイズ王を目指して挑戦しませんか。(○×で答えてね)



- 〈問題〉①ニホンザルは夜にえさを探したり動き回ったりする、夜行性の動物である。
②寝たふりをすることを“タヌキ寝入り”と言いますが、タヌキは本当に“タヌキ寝入り”をする。



- ③キリンの特徴であるあの長い首は約2mあります。さて、人の首の骨は7個ありますが、キリンの首の骨は人より2個多い9個である。
④ラクダは、砂漠で何日も飲まず食わずに旅する事ができるのは、コブの中にタンパク質が詰まっているからである。
⑤キツネは冬になると毛がすっかり真白に抜け替わり、シロギツネと呼ばれるようになる。
⑥プレーリードッグはリスの仲間なのにドッグ(イヌ)と呼ばれています。このようにドッグと呼ばれているのは、夜になるとイヌや狼のように「ウオー」と遠吠えをするからである。

さて、何問正解できましたか。答え終わったら下のコメントをよく読んで、自分の実力を判断してください。

- 正解0～2問の人・・・あなたは動物のことを知らな過ぎます。月に一回は動物公園に足を運んで、勉強しましょう。
正解3～5問の人・・・まあまあの実力ですね。さらに動物公園に足を運んであまり知られていない動物も勉強しましょう。
全問正解・・・もう何も言うことはありません。今度は動物たちと仲よくできるように、動物公園に足を運びましょう。



今回のクイズ大会は、多くの方がクイズを通して動物や動物公園に親しんでもらうという主旨で開催されました。また、12月からは閉園になるため、最後の出血大サービス(?)で多くの商品が参加者に配られました。

当日はクイズ大会の他にも映画会、出店コーナーといった催し物も行われ、約5000人もの入場者が休日の1日を楽しみました。

次回もまた動物公園まつりを開催する予定です。みなさんのご来園をお待ちしております。

‘×⑨ ‘×⑤ ‘×⑦ ‘×⑧ ‘○② ‘×①
ぎぎのまて

- | | | | |
|-------|--|----------------|--|
| 1. 2 | ヒツジ 1 頭出産 | 7. 2 | キリン 2 頭東京都多摩動物公園より入園 |
| 1. 16 | フラミンゴ 1 羽田老町より保護収容(1.22死亡) | 7. 7 | どうぶつだいすきクラブ「なきごえクイズ」 |
| 1. 20 | 冬の動物観察会 | 7. 12 | フラミンゴ 21 羽入園 |
| 1. 25 | キュウシュウノウサギ 1 頭広島市安佐動物公園より寄贈入園 | 7. 14 | どうぶつスポットガイド「ヨザル、ラクダ」 |
| 1. 27 | ニホンツキノワグマ 1 頭出産 | 7. 15 | コフラミンゴ 1 羽死亡 |
| 2. 9 | カラヤマドリ 2 羽、キンケイ 1 羽仙台市八木山動物公園より寄贈入園 | 7. 21 | どうぶつだいすきクラブ「かみしばい」 |
| 2. 20 | ヤマネ 1 頭軽米町より保護収容 | 7. 22 | コフラミンゴ 1 羽死亡 |
| 2. 23 | ニホンザル 1 頭死亡 | 7. 26 | アフリカ園開園式 |
| 2. 24 | 動物公園友の会第 5 回例会 | 7. 27 | 夜の動物観察会(～7.28) |
| 2. 26 | プレーリードッグ 1 頭死亡 | 7. 31 | ヨーロッパフラミンゴ 1 羽死亡 |
| 2. 27 | 富士自然公園片井部長他 1 名来園視察 | 8. 4 | どうぶつスポットガイド「ウシ」 |
| 2. 28 | オオワシ 1 羽大船渡市より保護収容 | 8. 6 | サマースクール開催(～8.8) |
| 3. 1 | ヤギ 2 頭出産 | 8. 10 | サマースクール学習会 |
| 3. 16 | キュウシュウノウサギ 1 頭死亡 | 8. 11 | どうぶつだいすきクラブ「どうぶつクイズ」 |
| 3. 17 | トウホクノウサギ 1 頭死亡 | 8. 12 | トウホクノウサギ 3 頭出産 |
| 3. 21 | オオハクチョウ 2 羽市内より保護収容、2 日後放鳥する | 8. 15 | アカシヨウビン 1 羽市内より保護収容 |
| 3. 24 | どうぶつだいすきクラブ「どうぶつクイズ」 | 8. 18 | どうぶつスポットガイド「ダチョウ」 |
| 4. 1 | アメリカバイソン 1 頭死亡 | 8. 20 | トラツグミ 2 羽滝沢村より保護収容 |
| 4. 2 | トウホクノウサギ 2 頭出産 | 8. 24 | オオツノヒツジ 1 頭(6.7 出生)死亡 |
| 4. 6 | オオハクチョウ 1 羽市内より保護収容、翌日放鳥する | 8. 25 | どうぶつだいすきクラブ「あしがたをたろう」 |
| 4. 13 | ホンドキツネ 3 頭出産 | 8. 26 | どうぶつスポットガイド「インドクジャク」 |
| 4. 14 | どうぶつだいすきクラブ「ねんどでどうぶつをつくろう」動物公園友の会第 1 回例会 | 8. 28 | オオタカ 1 羽市内より保護収容 |
| 4. 16 | シロオリックス 3 頭東京都多摩動物公園より寄贈入園 | 8. 28 | 市川市動植物園河合獣医師他 2 名来園視察 |
| 4. 18 | ムササビ 1 頭一関市より保護収容(4.21 死亡) | 9. 1 | 昆虫観察会、スポットガイド「フラミンゴ」 |
| 4. 21 | 野鳥観察会 | 9. 8 | どうぶつだいすきクラブ「みみをつくろう」 |
| 4. 28 | どうぶつだいすきクラブ「おめんをつくろう」 | 9. 15 | 敬老の日、65 歳以上無料入園 |
| 4. 29 | どうぶつスポットガイド「カナダカワウソ」 | 動物公園友の会第 3 回例会 | |
| 5. 3 | どうぶつスポットガイド「ニホンカモシカ」 | 9. 22 | どうぶつだいすきクラブ「おめんをつくろう」 |
| 5. 4 | どうぶつスポットガイド「エミュー」 | 動物相談会(～9.23) | |
| 5. 5 | ヤギ 1 頭出産 | 9. 23 | スポットガイド「シロオリックス、シロサイ」 |
| 5. 5 | どうぶつスポットガイド「ピューマ」 | 9. 26 | 動物霊憲祭 |
| 5. 6 | どうぶつスポットガイド「ノウサギ」 | 9. 27 | 動物公園入園者 70 万人記録 |
| 5. 7 | ニホンザル 1 頭出産 | 9. 29 | キリンの愛称発表(9.14～28 募集) |
| 5. 11 | ムササビ 1 頭平泉町より保護収容(5.15 死亡) | 10. 2 | どうぶつスポットガイド「キリン」 |
| 5. 12 | キジバト 1 羽水沢市より保護収容(10.22 放鳥) | 10. 3 | キュウシュウノウサギ 2 頭東京都多摩動物公園より寄贈入園 |
| 5. 15 | どうぶつだいすきクラブ「ヒツジの毛をかろう」 | 10. 6 | 東京都多摩動物公園鈴木係長他 1 名来園視察 |
| 5. 18 | トウホクノウサギ 5 頭出産 | 10. 13 | 自然観察会「林の中で秋をさがそう」 |
| 5. 18 | 仙台市八木山動物公園中山文義氏来園視察 | 10. 13 | どうぶつだいすきクラブ「木の実や落ち葉であそぼう」 |
| 5. 19 | トウホクノウサギ 1 頭死亡 | 10. 18 | 愛媛県立とべ動物園山崎園長他 1 名来園視察 |
| 5. 20 | 桃植樹祭 | 10. 27 | アメリカバイソン 1 頭出産 |
| 5. 24 | ニホンザル 1 頭出産 | 11. 3 | どうぶつだいすきクラブ「なきごえクイズ」 |
| 5. 26 | どうぶつだいすきクラブ「エサをあげよう」 | 11. 6 | 動物公園まつり |
| 5. 29 | プレーリードッグ 1 頭市内より保護収容 | 11. 6 | オオワシ 1 羽放鳥訓練のため鳥島獣保護センターへ移管 |
| 6. 1 | 動物計量クイズ(カナダカワウソ～6.16) | 11. 10 | 中国山西省研修生記念植樹 |
| 6. 2 | アオバズク 1 羽都南村より保護収容 | 11. 10 | どうぶつだいすきクラブ「エサをあげよう」 |
| 6. 5 | 動物公園入園者 50 万人記録 | 11. 14 | 埼玉県こども動物自然公園菅野副園長他 3 名来園視察、アフリカゾウ 2 頭入園 |
| 6. 7 | ニホンジカ 2 頭出産 | 11. 19 | 中国長治市より寄贈のアカゲザル受入式 |
| 6. 7 | オオツノヒツジ 1 頭出産 | 11. 24 | どうぶつだいすきクラブ「ねんどでどうぶつをつくろう」 |
| 6. 9 | チャップマンシマウマ 3 頭入園 | 11. 26 | 弘前市観光協会より 3 名来園視察 |
| 6. 9 | どうぶつだいすきクラブ「どうぶつクイズ」 | 11. 27 | 埼玉県こども動物自然公園白井獣医師他 2 名来園視察 |
| 6. 16 | 動物公園友の会第 2 回例会 | 12. 1 | 冬期休園(翌年 3 月 14 日まで) |
| 6. 19 | 横浜市野毛山動物園御園生係長他来園視察 | 12. 5 | トウホクノウサギ 4 頭秋田市大森山動物園へ寄贈、帯広市動物園伊藤直實氏来園視察 |
| 6. 21 | ダチョウ 3 羽入園、ヤギ 2 頭出産 | 12. 9 | バルマワラビー 1 頭繁殖 |
| 6. 23 | ライオン 2 頭、シロサイ 1 頭入園 | 12. 21 | 秋田市大森山動物園佐藤氏他 1 名来園視察 |
| 6. 23 | どうぶつだいすきクラブ「どうぶつのえをかこう」 | 12. 31 | ヒツジ 2 頭出産 |
| 6. 25 | ヤギ 2 頭出産 | | |
| 6. 29 | トウホクノウサギ 3 頭出産 | | |

動物公園 友の会のコーナーです

動物が大好き、動物公園のことがもっと知りたいという人たちが集まって発足した動物公園友の会も2年がたちました。

今年も会員と飼育係がいっしょになってたのしくすごすことができました。

—平成3年度友の会活動内容—

第1回例会(4/14):「ガイドツアー及び子供会館行事の参加」

第2回例会(6/16):「むしをさがそう」
わんぱく広場で昆虫の観察をしました。

第3回例会(9/15):「アフリカ園ができるまで」アフリカ園見学会

動物公園まつり(11/3):「おめんをつくろう」

第4回例会(12/15):「冬の動物」

冬の動物の話と園内見学

第5回例会(2/16):「反省会と映画会」

例会では、自然とふれあったり、動物についての話をきいたりしました。春にはみんなでわんぱく広場の昆虫をしらべ、冬には寒い中、動物公園の動物たちのくらしを観察しました。野原の小さな虫の世界をのぞき、冬の動物の元気な姿を見つけてみんな大はしゃぎでした。その他にアフリカ園開園までの様子をスライドで見学しました。動物たちがどうやって動物公園にやって来たのか? みんなの疑問も解けたようです。

さて、これだけでは、動物公園が全部わかったわけではありません。もっと動物公園を知りたい、飼育係ともなかよくなりたいたいという会員のために「友の会ボランティア」を始めてみました。



友の会ボランティア
やさしい会員のみ
なさんが、お客さ
んにウサギをだか
せてくれました。

これは、会員のみなさんが、休みの日などを利用して動物公園にやってきて、飼育係のお手伝いをしてみようというものです。

ボランティアといっても、会員のみなさんにたのしんでもらうのが目的です。

さっそく、たくさんのお友だちがやってきてくれました。「どうぶつこうえん友の会」という青い腕章をつけて、仕事の開始です。子供どうぶつえんのおねえさんといっしょにウサギのだっこ準備です。だっこの時間がはじまると、ボランティアのお友だちも、だっこするお客さんも少し緊張みです。

やさしくだかせてあげられるかな? ヤギのコーナーでは別のお友だちがお客さんにヤギのエサの草をわたしています。まわりには、お客さんがたくさんあつまって、ちょっと目立っててれくさかったかな。つぎは大きな動物の世話に挑戦してみようかな。短かったけど飼育係の気分が少しあじわえた1日でした。



動物公園まつり
友の会主催「おめん
をつくろう」のコー
ナー

秋に催された動物公園まつりでも友の会のみなさんが大活躍しました。子供会館では、友の会主催「おめんをつくろう」が開かれました。みんなでお客さんにおめんの作り方をおしえました。はじめておめんをつくるお友だちもお客さんの前に出ると、りっぱな先生でした。また、出店コーナーやウサギのだっこコーナーにも青い腕章をつけた会員のみなさんの姿がみられました。

いろいろあった1年間をたのしくすごすことが出来たのも会員のみなさんのおかげです。今後も例会や行事を通じてみなさんとたのしい友の会を作ってゆきたいと思います。

こどもどうぶつえんへのおたより

ポカポカよう気のある日よう日。こどもどうぶつえんの中では、こどもたちの元気な声がひびいています。ここは、ウサギ、モルモットやヤギたちとすきなだけあそんでいられる、ゆめのようなばしょなのです。でも、日よう日だけではありません。平日でもこどもどうぶつえんが大にぎわいという日もあります。

それは、遠足でやってきたこどもたちが「どうぶつ教室」をうけているからです。「どうぶつ教室」はあらかじめ予約をして下さった団体の方にひらいているもので、どうぶつとふれ合ったり、スライドをみたりしながらどうぶつのことをべんきょうしてもらったり、もっとすきになってもらうための教室です。その教室をうけてかえったおともだちからそのときの感想文や体験をもとにした工作などをおくっていただくことがあります。

そのようなものがおくられてくると、私たちはいつもドキドキしてしまいます。というのは、私たちの教室をどのようにみなさんがうけとめてく

れたのか、わかるからです。たのしんでくれたのかなあ、どうぶつがすきになってくれただろうか、などと考えながらよませていただいています。まるで、こどもどうぶつえんへの成績表のようですね。では、その成績表の中からすこし紹介してみましよう。これは、松園小学校2年生のみなさんの作品です。

どうぶつのかたちに切った台紙にとてもユニークな一人ひとりのメッセージがかかれています。

ほかにも滝沢第2小学校1年生のみなさんから作品をおくっていただきました。

また、飼育係のおねえさんと文通しているおともだちや毎週のようにやってきて、声をかけてくれるかおなじみのおともだちがたくさんいます。

そういうおなじみさんたちにも、もっとたのしく、身近かなこどもどうぶつえんになって、成績表が「オール5」になるようにがんばりたいとおもいます。

これからもどうぞヨロシク!!



紹介します!!

——6人の飼育係1年生たち——



先輩達にどなられ、けとばされ、たまにはほめられて一日も早く一人前の飼育係になれるよう頑張っています。

◀右より小野康（水沢市出身、22歳）ゾウ・フラミンゴ等。口数が少ない分まゆ毛で返事するきまじめ派。

竹花秀樹（宮古市出身、19歳）鳥類。やる気はあるけれど一日中ねむそうな体力派。

藤好浩之（広島県出身、21歳）ラクダ・ポニー。今は友達がいないので動物一筋の熱中派。

桜庭美紀（久慈市出身、19歳）ヤギ・アヒル等。先輩達のペースを狂わすお嬢様育ちのおっとり派。

吉田優一（盛岡市出身、19歳）ウシ・ロバ等。年の割りには理屈っぽくて、ウっかり忘れるあいきょう派。

伊藤博信（盛岡市出身、19歳）キリン・シロオックス等。体は太いが心の中は乙女のような純情派。



動物公園の林を歩いていると、いろいろな鳥と出会います。春から夏には、足元から飛び立つヤマドリや、ヒナに餌を運ぶシジュウカラの姿を目にします。渡りの季節にはハクチョウやマガンの群れが上空を通ります。

写真はアカゲラというキツツキの仲間が以前に営巣に使った穴で知らずに近づいた時、親鳥がけいけいの声をあげながら追いかけてきたことがあります。巣は枯木や生木の幹をくちばしでつつき、穴を掘ってつくります。

アカゲラは園内に一年中生息します。翼は白黒のしまもよう、下腹はあざやかな赤が目立つ美しい鳥です。波型に飛んで木の幹にたてにとまります。餌は昆虫や幼虫で、木の皮の内側や穴の中をつつき、先がかぎ状の長い舌を使って取り出して食べます。

zoo もりおか

第3号 1992年

発行日 平成4年3月15日

編集・発行 (財)盛岡市動物公園公社

〒020 岩手県盛岡市新庄字下八木田60-18

TEL. 0196 (54) 8266

印刷所 三陽印刷株式会社